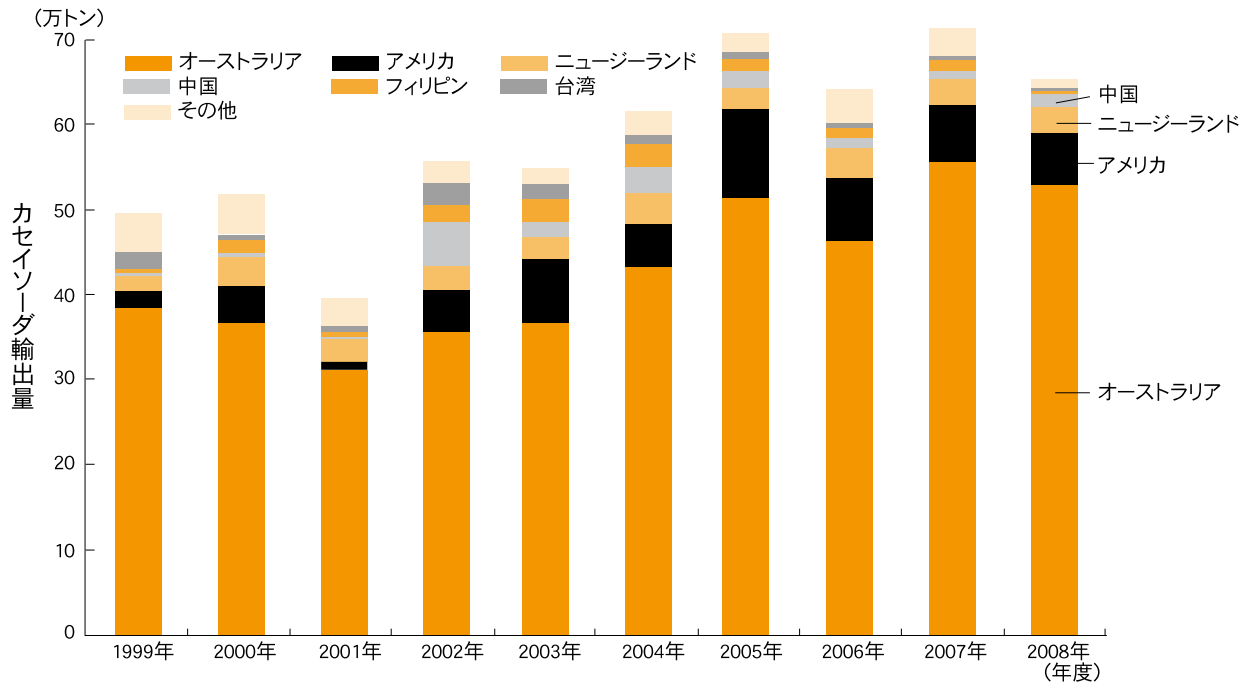


カセイソーダの輸出推移



(単位：トン)

年度	オーストラリア	アメリカ	ニュージーランド	中国	フィリピン	台湾	その他	合計
1999年	387,184	15,393	28,014	3,703	7,955	21,149	34,835	498,233
2000年	373,676	44,964	34,283	6,417	11,739	6,531	62,117	539,727
2001年	315,188	8,088	20,915	2,378	8,906	9,521	27,208	392,204
2002年	355,908	50,383	33,645	46,365	18,132	28,709	30,391	563,533
2003年	352,411	79,597	36,848	19,289	23,042	19,708	19,225	550,120
2004年	430,732	50,975	43,571	26,526	29,607	9,234	26,749	617,394
2005年	518,553	106,348	29,249	13,325	11,211	5,680	20,302	704,668
2006年	462,574	75,534	29,580	7,256	13,704	1,535	43,215	633,398
2007年	553,154	80,692	23,829	7,936	11,924	1,174	37,492	716,201
2008年	522,163	65,554	28,724	6,569	4,396	1,094	9,542	638,042

注1) 数量は、財務省貿易統計によるため、当会集計の輸出量（4ページ、カセイソーダの需給推移）とは異なる。
また、数量は推定による97%換算値。

注2) 2008年度のその他の主要国は、ブラジル（6,134 t）、タイ（2,297 t）。

2008年度の輸出量は638千トンで、前年度に比べて11%の減少となりました。

オーストラリア向け主体の輸出構成に大きな変化はありません。オーストラリアへの輸出量は、前年度に比べて6%の減少となりましたが、逆に、構成比は5%増加して、全体の82%を占めることとなりました。

オーストラリア向け輸出は、同国でのアルミニウムの生産に使用されるものです。オーストラリアでは、塩素需要の関係から、自国で電解工業を拡大できず、輸入に

依存している状況です。

また、アメリカ向け輸出も依然として、オーストラリアに次ぐ量で推移していますが、この2カ国にニュージーランドを合わせた輸出量は、全体の97%になります。

図表の6カ国以外では、前年度ゼロだったブラジルが6千トン、タイが2千トンと、共にわずかな量となっており、しかも全体で、前年度の1/4にまで縮小しています。なお、前年度31千トンだったカナダは、ゼロとなっています。